

目次

建設の機械化の促進について.....	斎藤義治	1
“建設機械の機動部隊”.....	有坂誠喜	2
座談会——土質工学と建設機械化.....		4
随筆——信念.....	X 生	8
北海道の道路除雪について.....	齊藤静脩	9
ブルドーザによる道路上の除雪作業について.....	粉川一武	10
タイヤドーザの実績について.....	石上立夫	14
現場から——(II)“パイルというもの”.....	中岡二郎	21
日本建設機械工業の生産概況と問題点並びに対策【その二】 通商産業省重工業局産業機械課		26
ソ連土木工事の機械化〔3〕.....	原田干三	30
建設機械化十年史 ——技術者の回想(27).....	加藤三重次	34
ネブラスカ・テストから見た トラクタ性能について.....	小蒲康雄	39
日本建設機械化協会の動き 建設機械化施工の 現場調査に関する研究(抄録).....		44
第2回丸山水力発電所建設工事見学会.....		54
行事一覧.....		56
編集後記.....		56

◇表紙写真説明◇

三菱日本重工業株式会社においては、この程保安庁の注文により重除雪車を完成して納入した。本除雪車は全重量17 吨で過給機付250馬力ディーゼル機関を装備し、2100—25—16 プライ(外径約1.7米)の特殊大型タイヤを備えた極めて特異なもので、除雪車としては我国最大のものである。除雪機構は一般のV型鋤と異り、車体前面の雪を螺旋式掻寄具で中央部に掻寄せた上、螺旋軸の中央後側に設けられた羽根車の回転によってこれを螺旋側板を越え車体側方に投飛ばす式のもので、最大投飛距離50米に達する。又板飛口に適当な樋を装備する事により投出された雪をダンプトラック等へ積込ますようにも出来る。同社においてはこの除雪車の除雪装置の部分に排土板を取付けたようないわゆるタイヤドーザを予てより通産省工業化試験補助金の交付を受けて試作研究を進めており、このものも近く完成の予定である。

外形寸法——長6.17米、巾3.20米、高3.00米 ホイールベース——1.92米 トレッド——2.45米
 速度——最大27.5 軒毎時、最小1.2 軒毎時(特別低速) 最大牽引力——12,800 斤 登坂能力——約30度
 左右傾斜限界角——約35度 最小回転半径——その場旋回
 エンジン——DH2C型水冷4サイクル過給ディーゼル機関、最大出力250馬力(2,000回転毎分)
 変速機——前進6段(特別低速付)、後退4段、オールシンクロメッシュ式
 操向方式——クラッチプレーキ式(手動圧縮空気倍力式)
 除雪装置——3段螺旋送付ロータリー式、巾3.20米、高1.55米